

第2章

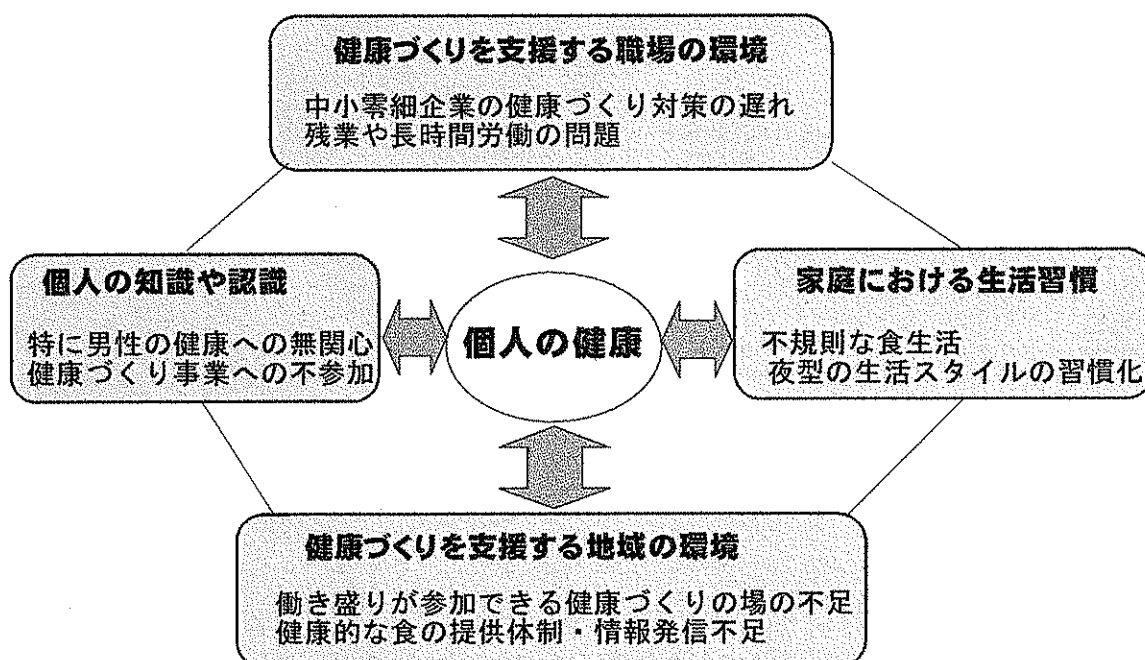
生活習慣病分野における 県民の健康と生活習慣の現状

- 1 中間評価から見える鳥取県における
生活習慣病の課題
- 2 本県における生活習慣病分野の
目標達成の阻害要因
- 3 健康とっとり計画（生活習慣病対策分野）
の中間評価について

1 中間評価から見える鳥取県における生活習慣病の課題

関連因子	現状と課題
食生活	<input type="checkbox"/> カルシウム摂取量の不足 <input type="checkbox"/> 野菜は摂取目標量を満たさず ⇒正しい栄養知識の啓発が必要 <input type="checkbox"/> 30～60歳代男性、50～70歳代女性の肥満の増加 <input type="checkbox"/> 40～74歳男性の4人に1人がメタボ該当者又は予備群 ⇒運動の啓発が必要
運動	<input type="checkbox"/> 日常生活における歩数が減少 <input type="checkbox"/> 意識的に運動する人が増加しない <input type="checkbox"/> 運動施設利用者が減少 ⇒運動習慣を促す啓発（仕組み）が必要
こころの健康	<input type="checkbox"/> ストレスを感じている人が依然多い。 <input type="checkbox"/> 睡眠による休養が不十分 ⇒心の健康を保持できる社会環境の整備が必要
糖尿病	<input type="checkbox"/> 健診の有所見者の増加 <input type="checkbox"/> 糖尿病患者数の増加 <input type="checkbox"/> 予防に心がける人の減少 ⇒健診後の事後指導の徹底が必要 ⇒糖尿病治療の徹底が必要 ⇒糖尿病予防の啓発が必要
循環器病	<input type="checkbox"/> 健診の有所見者の増加 <input type="checkbox"/> 予防に心がける人の減少 ⇒健診後の事後指導の徹底が必要 ⇒循環病予防の啓発が必要
たばこ	<input type="checkbox"/> 未成年・妊産婦の喫煙がなくなる <input type="checkbox"/> 未成年者や妊産婦のいるところでの喫煙が増加 ⇒禁煙の知識啓発が必要 ⇒分煙対策の徹底が必要
アルコール	<input type="checkbox"/> 男性の多量飲酒者が増加 <input type="checkbox"/> 未成年者の飲酒がなくなる ⇒節度ある適正飲酒の啓発が必要 ⇒アルコール教育が必要

2 本県における生活習慣病分野の目標達成の阻害要因

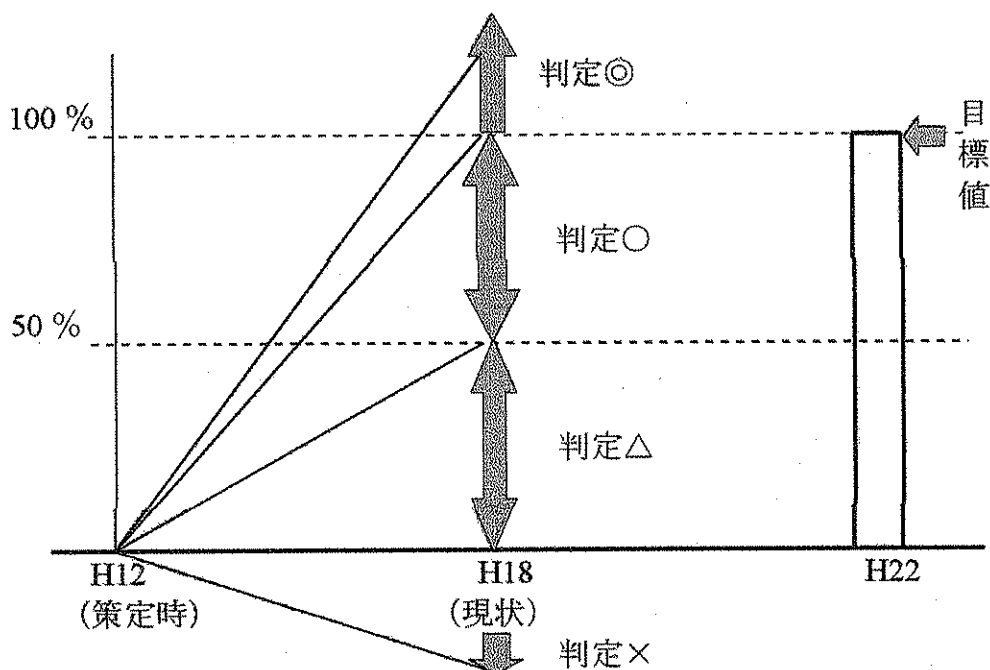


3 健康とっとり計画（生活習慣病対策分野）の中間評価について

(1) 分野別指標の評価の考え方

各指標の達成状況については、下記判定区分の基準により評価しました。

判定区分	判定基準
◎	現状値が既に目標値に達成している。(100%達成)
○	現状値が、目標達成にむけ順調に改善している。(50～99%改善)
△	現状値が、策定時より改善している。(1～49%改善)
×	現状値が、横ばいもしくは悪化している。
—	データがないか若しくは調査方法等が異なるため判定不能



全指標121のうち評価したものは62指標で、判定不能及びデータの信憑性に欠けるとして評価しなかったものは59指標でした。

評価した62指標のうち、達成及び順調に改善している指標は43.5%、やや改善している指標は9.7%、横ばい・悪化の指標は46.8%となっており、健康づくりの指標は横ばいの状況です。

領域	◎達成	○順調に改善	△やや改善	×横ばい悪化	—判定不能	合計
栄養・食生活・身体活動・こころ	4	5	3	12	17	41
脳卒中・糖尿病・がんの予防	18		3	17	6	44
たばこ					28	28
アルコール					8	8
合計	22	5	6	29	59	121
全指標に占める割合 (%)	18.2	4.1	5.0	24.0	48.8	100.0
評価した62指標に占める割合 (%)	35.4	8.1	9.7	46.8		

(2) 分野別の指標の達成状況

ア 健康増進（栄養・食生活・身体活動・こころの健康）

- 食塩、脂肪の摂取量は少しずつ改善のきざしが見られるが、野菜はほぼ横ばい、**カルシウムの摂取量は減少**しており、更なる普及が重要。
- 中、高生の肥満は減少しつつあるが、**小学生の肥満は増加**している。
30～60歳代の男性、50～70歳代の女性の肥満者は策定時より増加しており、特に**男性はかなりの悪化**で、肥満予防の対策が必要。
- 20歳代女性のやせの人は、目標値に達成しており改善が見られる。
- 生活における歩数については、策定時より**減少**しており、生活活動の改善が必要。
- 意識的に運動する人は横ばいで増えておらず、**運動施設の利用者も減少**しており、運動についてさらなる啓発が必要。

<表1 栄養・食生活・身体活動・こころの健康の目標値の達成状況>

指 標	2001年	出 典	2010年	2007年	達成	出 典
項 目	区 分	策定時現状値	目標値	改定時現状値	状況	
適正体重を維持する者を増やす	小学生	2.92%	減らす	3.69%	×	B
	中学生	2.85%		2.13%	◎	
	高校生	1.31%		1.26%	◎	
	30～60歳代男性の肥満者	22.8%	14%以下	32.7%	×	D
	50～70歳代女性の肥満者	28.2%	22%以下	30.5%	×	
	20歳代女性のやせの人	26.5%	17%以下	14.3%	◎	
貧血の者を減らす	15歳以上女性の貧血者	17.5%	10%以下	—	—	—
	70歳以上の貧血者	14.6%	10%以下	—	—	—
ストレスを感じた者を減らす	男性	68.0%	減らす	—	—	—
	女性	75.3%		—	—	
睡眠による休養が十分とれていない者を減らす		24.2%	減らす	—	—	—
朝食を食べない者を減らす	幼児	12.2%	0%	—	—	—
	児童・生徒	16.9%	0%	—	—	
	成人男性	18.1%	10%以下	—	—	

指 項目	標 区分	2001年 策定時現状値	出 典	2010年 目標値	2007年 改定時現状値	達成 状況	出 典
食塩の摂取量を減らす	1日の食塩摂取量 成人男性	13.8g	C	10g 未満	11.6g	○	D
	1日の食塩摂取量 成人女性	12.5g		10g 未満	10.3g	○	
脂肪の摂取量を減らす	20～40代の脂肪 エネルギー比率	29.8%	C	25%以下	27.4%	○	D
野菜の摂取量を増やす	一日の野菜摂取量	274.8g	C	350g 以上	277.2g	△	D
カルシウムに富む食品の摂取量を増やす	1日の牛乳・乳製品 摂取量(成人)	102.6g	C	130g 以上	96.8g	×	D
	1日の豆・豆製品 摂取量	76.2g		100g 以上	61.9g	×	
	1日の緑黄色野菜 摂取量	94.9g		120g 以上	94.9g	×	
適正体重の維持に努 めている人を増やす		75.5%	G	90%以上	—	—	—
1日1回以上はきち んとした食事をとる人 を増やす		62.0%	C	90%以上	91.2%	◎	D
1日の歩数を増やす	成人男性	7138 歩	C	8200 歩以上	5884 歩	×	D
	成人女性	6276 歩		7300 歩以上	5170 歩	×	
	70歳以上男性	4440 歩		5700 歩以上	3090 歩	×	
	70歳以上女性	4150 歩		5500 歩以上	2907 歩	×	
意識的に運動する人 を増やす	男性	19.7%	C	30%以上	20.8%	△	D
	女性	20.1%		30%以上	21.9%	△	
運動施設の利用者を 増やす		1,383,137 人	H	増やす	1,008,098 人	×	I
運動好きな子どもを 増やす	小学校3年	84.5%	J	増やす	—	—	—
	小学校6年	72.3%					
	中学校2年	67.8%					
	高校2年	69.9%					
バランスのよいメニュー を提供する店舗を 増やす		—	—	増やす	—	—	—

指 標		2001年	出	2010年	2007年	達成	出
項 目	区 分	策定時現状値	典	目標値	改定時現状値	状況	典
外食や調理済食品の栄養成分表示をする店を増やす		—	—	増やす	44店舗	○	K
運動教室の参加者や指導者を増やす	参加者	9113人	L	増やす	—	—	—
	指導者	779人			—	—	
スポーツ少年団等の参加者を増やす		4679人	M	増やす	4505人	×	I
健康や栄養に関する学習の場や自主グループを増やす		16グループ	N	増やす	120グループ	○	○
こころの健康づくりを視点にした健康教育を増やす		76回	N	増やす	69回	×	○

＜データの出典＞

A 平成 12 年度学校保健統計調査

B 平成 17 年度学校保健統計調査

C 平成 11 年県民健康栄養調査

D 平成 17 年県民健康栄養調査

E 平成 8 年度生活習慣状況調査

F 平成 12 年度健康問題に関する意識調査

G 平成 13 年度健康づくりに関する意識調査

H 平成 12 年(財)鳥取県体育協会集計

I 平成 17 年鳥取県体育協会集計

J 平成 12 年度運動・体力に関する意識調査

K 平成 17 年度健康対策課調査

L 平成 11 年度鳥取県スポーツセンター調査

M 平成 13 年度鳥取県スポーツセンター調査

N 平成 14 年度県健康対策課調べ

O 平成 18 年度県健康対策課調べ

イ 生活習慣病対策（循環器病、糖尿病、がん）

- 健診で、糖尿病、高血圧症、高脂血症の所見のある人が、策定時より増加している。
- 糖尿病患者数も増加しており改善がみられない。
- がんになる人については、直腸がんの女性、肺がんの男性が若干増加しているがその他については、改善が見られる。
- 健診でみつかると早期がんについては、大腸がん、肺がんは増えてきているが、胃がんについては逆に悪化しており、改善策が必要。
- 死亡率については、大腸がん、肺がん、肝臓がんが増加しており改善策が必要。
- 基本健診受診率は横ばい状況で、がん健診は、子宮がん、肺がん、乳がんの数値は悪化している。胃がん、大腸がんも若干増えてはいるが改善策は必要。
- 個別健康教育、乳がん自己検診法の教育を行う市町村が増加してきた。

<表2 脳卒中・糖尿病・がんの予防の目標値の達成状況>

指 標		2001年	出典	2010年	2007年	達成	出典
項 目	区 分	策定時現状値		目標値	改定時現状値	状況	
健診で所見のある人を減らす	糖尿病	14.3%	A	10%以下	16.3%	×	B
	境界域高血症	10.6%		10%以下	9.1%	◎	
	高血圧症	27.0%		20%以下	33.2%	×	
	高脂血症	33.6%		30%以下	44.7%	×	
糖尿病患者を減らす	通院 延人数/1日当り	7482人	C	減らす	9360件	×	D
	入院 延人数/1日当り	341人			334件	×	
がんになる人を減らす(人口10万人対)	胃がん 男性	97.0人	E	減らす	96人	◎	F
		女性			46.8人	37.9人	
	大腸がん 男性 (結腸がん) 女性	54.2人			42.8人	◎	
		28.6人			27.2人	◎	
	(直腸がん) 男性	25.0人			24.2人	◎	
		女性			10.7人	14.1人	
	肺がん 男性	62.4人			63.8人	×	
		女性			20.3人	20.1人	
肝臓がん 男性	40.8人	40.4人	◎				
	女性	11.0人	9.4人	◎			
健診でみつかるがんのうち早期がんの割合を増やす	胃がん	75.3%	G	増やす	65.2%	×	H
	大腸がん	71.2%			83.2%	◎	
	肺がん	58.5%			74.5%	◎	
死亡率を減らす(標準化死亡率)	(標準化死亡率) 脳卒中 男性	110.6人	I	減らす	110.6人	×	J
		女性			110.3人	109.8人	
	胃がん 男性	107.7人			105.6人	◎	
		女性			111.7人	96.3人	
	大腸がん 男性	101.4人			103.4人	×	
		女性			96.3人	105.5人	
	肺がん 男性	98.7人			97.9人	◎	
		女性			92.1人	99人	
肝臓がん 男性	106.5人	120.2人	×				
	女性	103.0人	129.9人	×			
健康診査の受診者を増やす	基本健康診査受診率	36.4%	G	50%以上	36.6%	△	H

指 標		2001年	出	2010年	2007年	達成	出
項 目	区 分	策定時現状値	典	目標値	改定時現状値	状況	典
がん健診の受診率を増やす	胃がん検診受診率	22.9%	G	35%以上	25.4%	◎	H
	子宮がん検診受診率	20.5%		35%以上	17.5%	×	
	肺がん検診受診率	36.5%		50%以上	28.1%	×	
	乳がん検診受診率	22.7%		35%以上	15.3%	×	
	大腸がん検診受診率	27.3%		35%以上	28.9%	△	
高血圧・糖尿病などの予防に心がける人を増やす		64.3%	K	増やす	53.1%	×	L
市町村の行う集団健康教育を増やす	肺がん	18回	M	増やす	11回	×	N
	大腸がん	69回			11回	×	
	糖尿病	144回			136回	×	
	病態別	440回			467回	◎	
市町村の行う個別健康教育を増やす		38人	O	増やす	182人	◎	P
乳がん自己検診法の教育を行う市町村を増やす		17/39市町村	M	増やす	16/19市町村	◎	P
検診を行う中小企業を増やす		96	Q	増やす	—	—	—
生活習慣病患者や予防のための自主グループの育成に取り組む市町村医療機関を増やす		12/39市町村	S	増やす	14/19市町村	◎	N

<データの出典>

A平成11年市町村基本健康調査
 B平成17年市町村基本健康調査
 C平成12年国保連合会集計
 D平成17年国保連合会集計
 E平成9年鳥取県がん登録
 F平成14年鳥取県がん登録
 G平成11年市町村がん健診実績
 H平成17年市町村がん健診実績
 I平成9年人口動態統計

J平成16年人口動態統計
 K平成13年度健康づくりに関する意識調査
 L平成17年県民健康栄養調査
 M平成10年老人保健実績
 N平成18年度県健康対策課調査
 O平成11年老人保健実績
 P平成17年老人保健実績
 Q平成13年県産業保健センター調査
 R平成17年労働衛生統計情報
 S平成14年度県健康対策課調査

ウ 生活習慣病対策（たばこ）

策定時と比較するデータがないため、達成状況が評価できない。

○未成年者及び妊産婦の喫煙がなくなっていない。

<表3 たばこの予防の目標値の達成状況>

指 標	2001年	出 典	2010年	2007年	達成	出	
項 目	区 分	策定時現状値	目 標 値	改定時現状値	状 況	典	
未成年者の喫煙をなくす	中学2年の喫煙男子	9.5%	0%	—	—	—	
	女子	4.5%			—		
	高校3年の喫煙男子	33.5%			—		
	女子	21.0%			—		
妊産婦の喫煙をなくす		8.4%	C	0%	—	—	
禁煙指導を受けの人を増やす		20人	E	増やす	—	—	
喫煙による健康影響について知っている人を増やす	肺がん	86.6	F	増やす	—	—	
	喘息	49.5			—		
	気管支喘息	55.4			—		
	心臓病	39.6			—		
	脳卒中	35.8			—		
	胃潰瘍	31.4			—		
	歯周病	25.2			—		
	妊婦に関連した異常	72.4			—		
未成年者や妊産婦のいる所で喫煙しない人を増やす		80.5	G	増やす	—	—	
分煙を実施する施設を増やす	公共の場	17.6%	G	増やす	—	—	
	職場	53.3%	H		—	—	
	病院	46.3%	I		—	—	
	診療所	50.4%			—	—	
	歯科診療所	45.4%			—	—	
	学校	90.7%	L		—	—	
	運動施設	—	—		—	—	
禁煙指導を行う医療機関を増やす		—	—	増やす	127機関	—	K
喫煙防止教育を実施する学校を増やす		57.2%	L	増やす	—	—	

指 標	2001年	出 典	2010年	2007年	達成	出 典	
項 目	区 分	策定時現状値	目 標 値	改定時現状値	状 況	典	
学校周辺や分煙を進める施設での自動販売機を減らす		—	—	減らす	調査なし	—	—
禁煙希望者に禁煙支援を行う市町村・事業所を増やす	市町村	1/39 市町村	M	増やす	—	—	—
	事業所	4.9%	F	増やす	調査なし	—	—

<データの出典>

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| A 平成 11 年県教育委員会心と体のアンケート | I 平成 16 年医務薬事課 |
| B 平成 10 年鳥取大学調査 | J 平成 9 年医務薬事課調査 |
| C 平成 13 年度健康づくりに関する意識調査 | K 平成 18 年鳥取県医師会調査 |
| D 平成 17 年県民健康栄養調査 | L 平成 14 年県教育委員会調査 |
| E 平成 13 年度老人保健事業実績 | M 平成 13 年個別健康教育 |
| F 平成 12 年度健康問題に関する意識調査 | N 平成 18 年度健康対策課調査 |
| G 平成 12 年度県健康対策課調査 | |
| H 平成 12 年生活習慣病実態調査 | |

エ 生活習慣病対策（アルコール）

策定時と比較するデータが少ないため達成状況が評価できない。

- 妊婦の飲酒がなくなっていない。
- 男性の多量飲酒者を減少させることが必要。

<表4 アルコールの目標値の達成状況>

指 標	2001年	出 典	2010年	2007年	達成	出 典	
項 目	区 分	策定時現状値	目 標 値	改定時現状値	状 況	典	
未成年者の飲酒をなくす	中学2年の飲酒男子	14.9%	A	0%	調査なし	—	—
	女子	10.2%				—	
	高校2年の飲酒男子	26.7%				—	
	女子	20.6%				—	
多量に飲酒する人をなくす	男性	2.9%	B	減らす	4.6%	—	C
	女性	0.4%			0%	—	
妊婦の飲酒をなくす		17.3%	D	減らす	5.7%	—	C
アルコール健康教育を増やす		職場 3.1%	B	増やす	調査なし	—	—

<データの出典>

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| A 平成 11 年県教育委員会心と体のアンケート | B 平成 13 年健康問題に関する意識調査 |
| C 平成 17 年県民健康・栄養調査 | D 平成 14 年健康づくりに関する意識調査 |